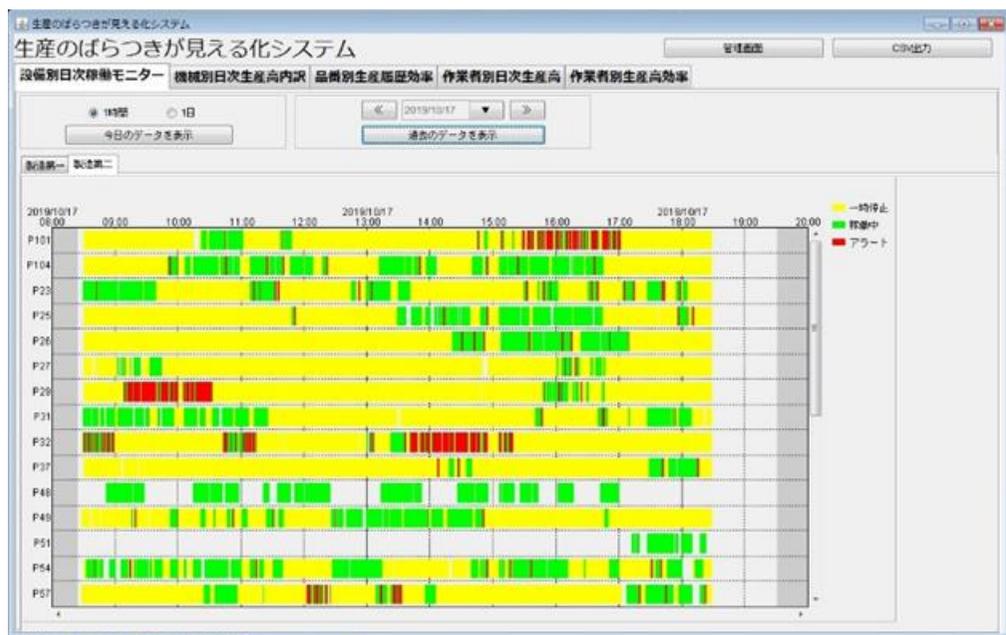


生産性の低下や品質改善などで、中小製造業の現場でお困りの方へ 生産プロセスのばらつき見える化システム

株式会社名取製作所



工作機械の稼働状況モニタ

アピールポイント

生産プロセスの変動の対象とする4M（人・機械・材料・手順）に着目

複数の作業をかけたもち
作業の状況が見える化！



機械・ヒト・モノの流れ
が一目瞭然

工程・作業員・品番単位
で分析し、問題プロセス
の原因を追究

作業の違いに目をつけ
ばらつき特性を発見！



良品プロセスとの相関
から作業を見直し改善

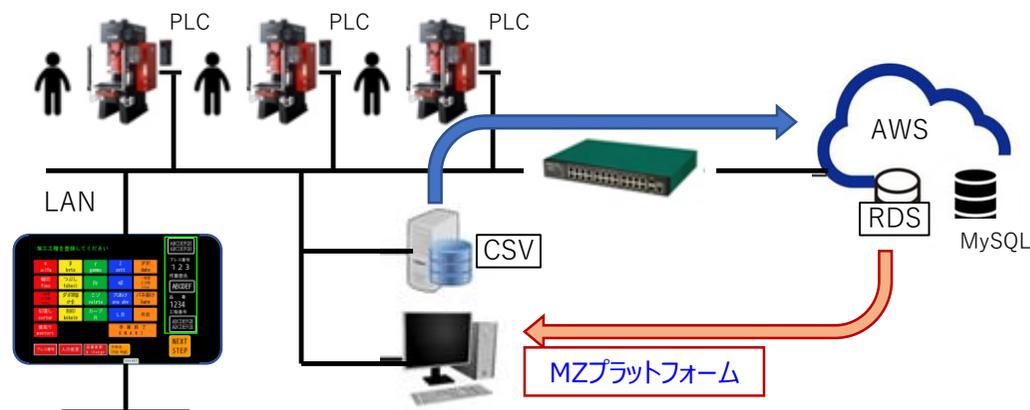
作業の改善効果を相
互に評価し、作業員の
モチベーションを向上

改善効果を自己、他
者が参考にできる



作業員の向上意欲を引き
出し「いいね」で促す

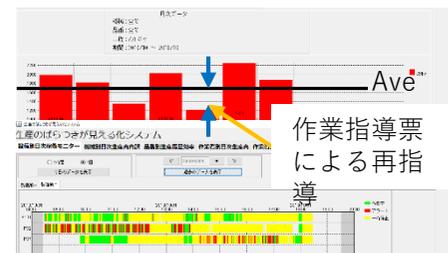
システム概要と開発経緯



中小企業において「多品種少量生産」「リードタイムの短縮」「省力化」への取り組みは避けて通ることができません。一方で、労働力不足や作業員の多様化への対応、付加価値創出による事業継続など厳しい現実があるのも事実です。そこで、見える化システムの構築が容易な「MZプラットフォーム（※1）」によるIoT化を実現し、機械と作業のデータを収集して生産性や品質改善にかかる労力を削減し課題を解決！ 中小企業でも使いやすい安価な商品化を目指し課題解決を応援します。

※1 MZプラットフォームは（国研）産業技術総合研究所が中小企業のものづくり支援を目的に提供するソフトウェア開発・実行環境です。

成果、効果検証



同作業における作業員間の効率差

作業員によって時間当たりの出来高に差がある。作業状況を見ると、非常停止ボタンをたびたび押し、チェックを行っていたことがわかり、作業改善指導を実施し生産性が向上した。



作業標準と現作業との生産効率の差

紙の日報で不良発生日を調べてもロット単位までの情報しか得られなかった。累積一時間推移をモニターすることで、チョコ停（チョコッと停止）をポイントとして、ロット内のイレギュラーの発生原因を推定することができ、作業効率の改善が見込める。